

2020年2月26日

各位

株式会社 SBI証券

SBI証券、ネット証券 No.1 となる証券総合口座 500 万口座達成のお知らせ

株式会社 SBI証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下「当社」)は、ネット証券 No.1*となる証券総合口座 500 万口座を達成しましたのでお知らせいたします。

当社は、1999 年のインターネット取引のサービス開始以来、日本におけるネット証券の先駆者として、「顧客中心主義」の経営理念のもと、「業界最低水準の手数料で業界最高水準のサービス」の提供に努めてまいりました。2001 年に実施した手数料の大幅引き下げを契機として、個人投資家の皆さまから多くのご支持をいただき、口座数だけでなく、預り資産残高、株式委託売買代金においても、ネット証券 No.1 の地位を築くに至っております。

直近の取組みとしては、2019 年 12 月以降、「投資信託の販売手数料の完全無料化」、「PTS 取引・ナイトタイムセッションの手数料実質無料化」、「国内株式(現物・信用)手数料における無料化範囲の拡大」、「日計り信用における取引手数料の実質無料化および買方金利・貸株料の 1.80%への引き下げ」などを実施し、より多くのお客さまの資産形成を支援できるよう、さらなる取引コストの低減にも取り組んでおります。

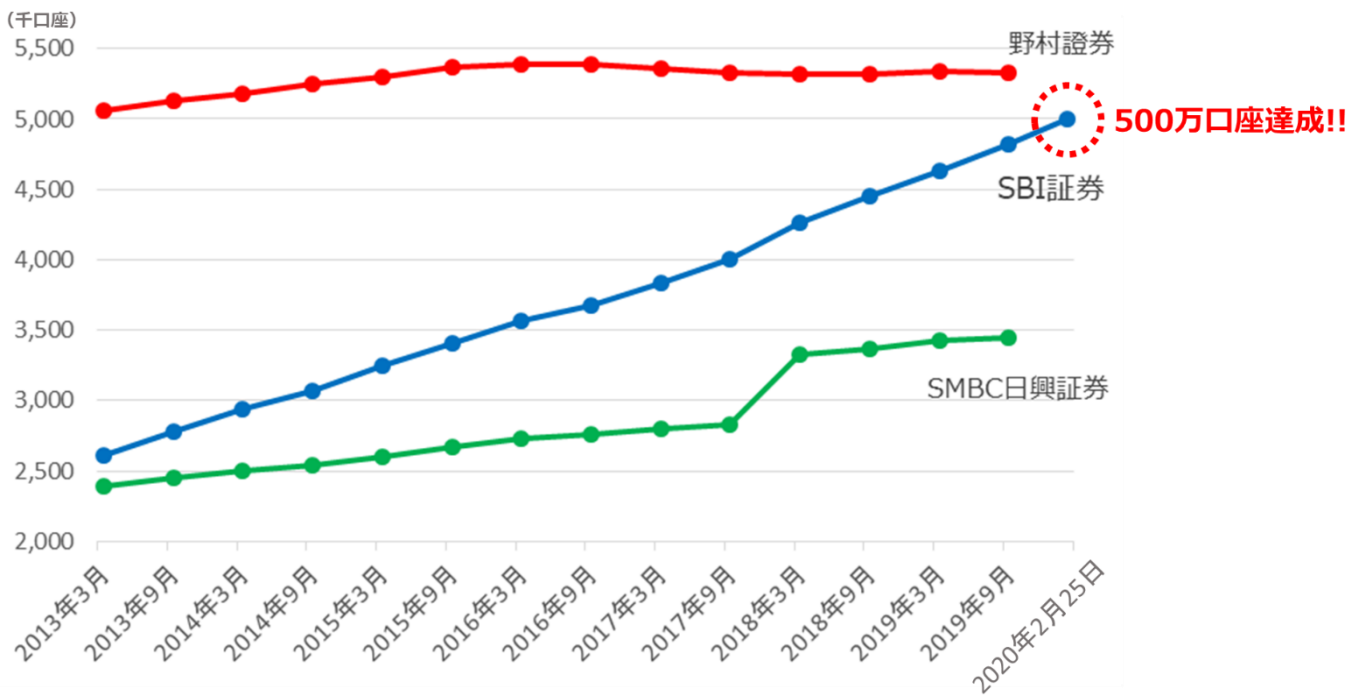
このたびの証券総合口座開設数 500 万口座の達成は、長年に渡る当社の取組みに対するお客さまからのご支持・ご支援の賜物と考えております。

近年は、若年層や投資初心者の方の口座開設数が増えており、当社で新規に口座開設をされたお客さまのうち、株式投資未経験の方が 80%超を占めるなど、個人投資家層の裾野が着実に広がっております。

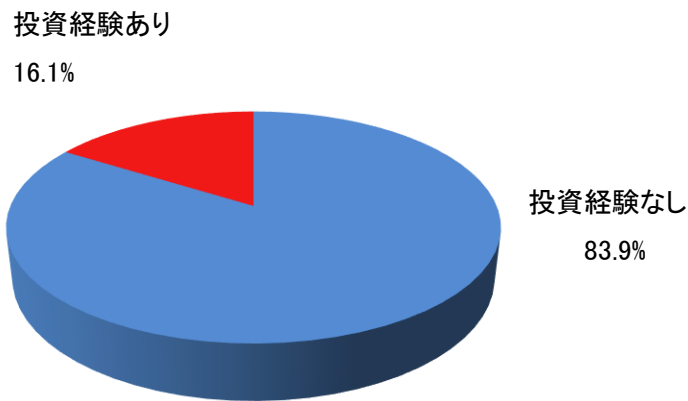
当社は今後も「顧客中心主義」の経営理念のもと、インターネット取引のサービス拡充を図ることに加え、金融商品仲介業者(IFA)の営業網やコールセンターなどインターネット以外のチャネルの活用により、さらなるリテール業務の拡大を推進してまいります。また、地域金融機関と連携した「地方創生」や、海外展開を含むホールセール業務を強化することで、オンライン総合証券として「業界最低水準の手数料で業界最高水準のサービス」の実現に努めてまいります。

※比較対象範囲は、主要ネット証券 5 社との比較となります。「主要ネット証券」とは、口座開設数上位 5 社の SBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、au カブコム証券(順不同)を指します。(2020 年 2 月 26 日現在、SBI証券調べ)

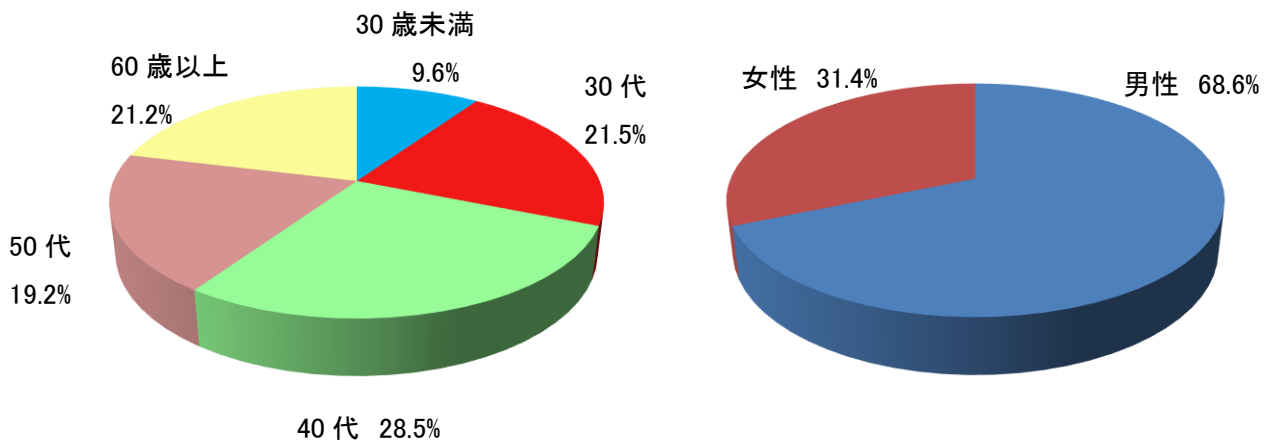
■大手対面証券との証券総合口座数の比較



■新規口座開設された方の株式投資経験有無の割合(2019年1月～12月)



■顧客口座属性(2019年12月末)



<金融商品取引法に係る表示>

商号等 株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者

登録番号 関東財務局長(金商)第 44 号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<手数料等及びリスク情報について>

SBI 証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI 証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所 CFD(くりっく株 365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI 証券 WEB サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。